科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：都市地理学 ILAS Seminar :Urban Geography			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　久木元　美琴		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	18 (15) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	人環棟437			使用言語	日本語
キーワード	都市 / 地理学						

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

テーマ：都市地理学を学ぶ
この授業では、都市地理学の基本的な視点や課題を理解し、都市を観察する方法を習得します。都市に暮らす人口が増加している傾向は、日本を含む世界の共通傾向となっています。この授業では、そもそも都市とはどのようなものか、どのような特徴を持つのか、近年の新たな動きや課題にはどのようなものがあるのか、基礎的な視点や理論、具体的な事例を学んでいきます。これを通じて、現代都市をめぐる可能性や課題について考察できるようになることを目的とします。

[到達目標]

都市地理学の基本的な視点、都市空間や都市構造、都市の新たな動きや課題について理解し、文献や統計、現地の観察結果等について発表したりそれをもとに討論したりできるようになる。

[授業計画と内容]

授業はゼミナール形式で進められます。都市地理学に関する文献資料の読み方、地図や統計、各種資料の判読・利用方法について学びます。各受講生は、文献資料のまとめ、地図、各種統計資料の判読を踏まえて、発表、討論を行います。また、具体的な都市の土地利用や現象理解のために、映像資料を用いたり、実際の都市（京阪神地域）を訪れて現地観察したり、資料館・博物館で地域資料を閲覧したりするフィールドワークを実施することがあります。フィールドワークを実施する場合、土日・祝日などに実施する可能性があります。

第1回　概要説明
第2回　文献学習、地図や統計の利用方法
第3～13回　受講生による発表と討論、現地観察
第14回　総括
第15回　フィードバック（フィードバック期間中に行う）

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点100%。（授業への参加状況60%　プレゼンテーション40%）
授業への参加状況は、課題・グループワーク・ディスカッションによって測る。

ILASセミナー ：都市地理学(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：都市地理学(2)

[教科書]

プリント等を配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習：授業中に提示された資料や都市に関する新聞記事や文献等をみておく。課題への応答や発表準備をする。
復習：学習した現象や理論、討論内容を自分なりに整理しておく。課題の作成をする。

[その他（オフィスアワー等）]

ゼミナール形式で行うことから、毎回出席できることを前提とします。自身の発表だけでなく、他の受講生の作業を見たり発表を聞いて討論することがゼミナールの重要な過程となるからです。
課題を進めるにあたって、グループワークやディスカッションが必要となります。
現地観察を行う場合、現地への移動に係る交通費や関連施設入館料等は受講生の負担となります。
実習中の事故や怪我に備えて、学生教育研究災害傷害保険に各自で加入しておくこと。

[主要授業科目（学部・学科名）]